

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 県立高等学校文化部活動振興費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県環境生活部県民文化局 文化伝承課 教育文化係

電話番号：058-272-1111 (内 3576)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,300 千円 (前年度予算額：4,300 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300
要求額	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300
決定額	4,300	0	0	0	0	0	0	0	4,300

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・原則として東海・中部・全国大会に出場した、県立高等学校の部活動 (推進指定校) に係る経費の一部 (遠征費、運搬費等) を補助。
- ・全国大会等に出場する経費や日常の文化部活動に係る経費の軽減により、全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を図る。
- ・現在着実に成果を上げている文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。

(2) 事業内容

推進指定校に補助金 (4,300 千円) を交付。

補助金額は、各部の実績等、各種基準により算出。

(3) 県負担・補助率の考え方

顕著な活動が見られる文化系部活動を推進指定校とし、経費の一部を補助することにより、充実した活動環境の整備を支援。

県立高等学校で日々懸命に部活動に取り組む生徒を支援する事業であり、県の負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

なし。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,300	各種基準に基づき配分された額を、各推進指定校に分配。
合計	4,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョンの基本方針の1つ「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」において、取り組むべき目標に「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が掲げられており、そのためにも文化部活動の活性化を図ることが必要。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県立高等学校文化部活動振興費補助金
補助事業者（団体）	各高等学校部活動後援会等 （理由）県内高校の文化部活動の振興が本県の文化の向上に不可欠との観点から、全国大会出場等の実績を有する部に対して、経費の一部を負担。
補助事業の概要	（目的）岐阜県立高等学校文化部活動の一層の強化・推進を図るため。 （内容）県立高等学校の文化系部活動の実施に伴う経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付。
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （例：人件費相当額） （内容）原則的に、東海・中部・全国大会に出場した部活動を推進指定校として認定し、活動経費の一部を補助。 （理由）過去3年間の実績に応じて例年約30校50部に効果的な配分を行い、旅費や運搬費等の経費の一部を補助。
補助効果	・全国大会出場への意識の高揚、日ごろの取り組みの意欲向上、部門における技量の上達を期待。 ・文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励により、特色ある文化部活動への一層の支援の拡充を計画。
終期の設定	終期 R6 年度 （理由）全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催される、一つの大きな節目であるため。

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 全国レベルの大会で上位入賞できる部の増加と各部門の裾野の拡大。
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
①全国大会・世界大会で上位入賞した部数		4	8

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	4,300 千円	4,300 千円	4,300 千円	(予算額) 4,300 千円	(要求額) 4,300 千円
指標①目標	4	4	4	4	4
指標①実績	0	2	1	(推計値) 2	(推計値) 3
指標①達成率	0%	50%	25%	(推計値) 50%	(推計値) 75%

(前年度の成果)

全国大会等に出場する経費や日常の文化部活動に係る経費の軽減と、文化部活動各部の適切な評価と活動のさらなる奨励によって、全国大会上位入賞を継続して排出。推進指定校制度による意欲向上と各専門部会で切磋琢磨する雰囲気醸成。

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・ 県大会上位レベルを全国トップレベルに引き上げる支援と各専門部会の裾野拡大のための支援の両立。
- ・ 正確な情報把握のための各専門部会との緊密な連携。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策、または収束後の立て直し対策。
- ・ 令和2年度の相次ぐ大会等の中止による令和3年度の推進指定校選考材料の不足。

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	○
<p>推進指定校として必要経費を補助することが各学校の文化部活動の動機づけの一つとなり、全体の活性化につながっているのは明白で、将来の県民文化の一層の発展のためにも本補助金は必要。</p>	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	○
<p>推進指定した部のいくつかがほぼ毎年全国レベルの大会で上位入賞を果たしているという点で、本補助金は有効。</p>	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	○
<p>毎年度末の事業の報告書などの確認により、各学校へ補助金の活用方法を助言しており、効率的な補助金の活用を継続して推進。</p>	

(事業の見直し検討)

子どもの数の減少や教員の働き方改革の影響による部活動の縮小が進行する中で、縮小の対象となりやすい文化部活動への金銭的支援である本事業を廃止した場合、本県の高校生の文化芸術離れが加速し、さらには将来の岐阜県の芸術文化の衰退につながることを予想される。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 第3次岐阜県教育ビジョンの基本方針の1つ「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」における取り組むべき目標にも「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が掲げられている。次代を担う高校生の芸術文化活動を支援し、その振興と活性化を図るために本事業は必要である。